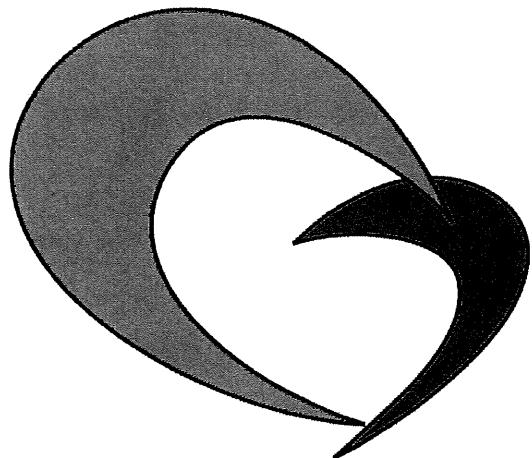


令和2年度 事業計畫



《理念》
共生 協働 自律

社会福祉法人 大館市社会福祉事業団

目次

令和2年度 大館市社会福祉事業団 本部 事業計画	1
令和2年度 大館市養護老人ホーム成章園 事業計画	7
令和2年度 大館市特別養護老人ホームつくし苑 事業計画	13
令和2年度 大館市デイサービスセンター大滝 事業計画	23
令和2年度 大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション 事業計画	25
令和2年度 ケアプランセンターおおたき 事業計画	26
令和2年度 ケアプランセンターはぎのだい 事業計画	27
令和2年度 大館市地域包括支援センターおおたき 事業計画	28
令和2年度 大館市ケアハウスほうとう 事業計画	33
令和2年度 大館市立老人福祉センター 事業計画	37
令和2年度 大館市ふれあいセンターやまびこ 事業計画	38
令和2年度 大館市へき地保育所 事業計画	40
令和2年度 年間事業計画(二井田保育所)	43
令和2年度 年間事業計画(真中保育所)	45
令和2年度 年間事業計画(下川沿保育所)	47
令和2年度 年間事業計画(沼館保育所)	49
令和2年度 年間事業計画(花岡保育所)	50
令和2年度 年間事業計画(矢立保育所)	52
令和2年度 年間事業計画(長木保育所)	54

令和2年度 大館市社会福祉事業団 本部 事業計画

1. 運営方針

当法人の当面の最重要課題は、各事業の収支の適正化を図り、経営的な自立を図ることである。特に、高齢者福祉事業においては、収入の増加並びに費用の削減に引き続き取り組む。そのため、各事業の適正な人員配置を図るとともに、現在業務委託を行っている業務についてもその見直しを図り費用を削減していく。

将来的に予定されている施設譲渡による法人の自立化に向けては、施設設備に係る大規模修繕、備品の更新等について、市担当課との連携を密に行い計画的に取り組む。

求人環境は年々その厳しさを増しているところであるが、職員の育成に努め、またストレスチェックの実施並びにハラスマント行為の防止に取り組み、職員の労働環境の改善を図る。その他の福利厚生に関する取組みについても、継続してその充実を図り、その取り組み内容を対外的にもPRしながら、当法人で働くことのメリットを発信していく。これらの対策によって、必要な職員数を常に確保していく。

社会福祉法人としての地域貢献については、従来と同様に地域住民との連携体制を密にしながら、社会福祉法人としての使命を果たしていく。これまでには、地域で行われている行事等への参加協力を中心に地域貢献活動を行ってきた。令和2年度に重点的に取り組みたい点として、地域の子どもたちとの交流や受入れの機会を増やし、またボランティアの受入れやインターンシップの受入れと併せ、地域住民にとって身近な存在となるよう活動していく。

各事業における、サービス提供の質の評価については、品質管理の仕組みを維持し、苦情や事故の分析からサービス改善へつなげ、利用者及び家族の安心につなげる。

指定管理期間の最終年度となっている大館市ふれあいセンターやまびこ及び大館市立老人福祉センターについては、これまでの事業の運営状況を振り返り、大館市とも連携を図りながら次期の指定管理に向け対応していく。

2. 本部事務局における委員会活動

□ 人財育成委員会

1. 運営方針

令和元年度は、ステップ5、指導職並びに監督職の三階層の研修でスーパービジョンを実施した。課題として、スーパーバイザー（指導者）の育成と、スーパーバイジー（受講者）に対するフォローアップ体制が挙げられた。令和2年度も引き続きスーパービジョンの体制づくりに取り組む。

平成30年度に見直した監督職の「力量評価表」について、令和2年度はその効果を検証する。また、管理職の「力量評価表」についても見直しを行う。

令和2年度から、自己啓発援助制度（SDS）の運用は本委員会にて対応していくこと

となつた。SDS の活用で取得できる資格を整理し、制度を職員へ周知するとともに活用促進のための活動に取り組む。

また、べき地保育所のキャリアパスに関しては、その意義や高齢者事業所での取り組み等を所長会議にて説明し、保育士のキャリア形成に関する課題を意見交換する。

2. 重点目標

キャリアパスにおける「ステップ5・指導職・監督職」の三階層で行っている研修「グループスーパービジョン」の体制を整える。

また、「ステップ1」から「ステップ4」の研修内容が実践に活かされるよう検討する。

- (1) スーパーバイザーの育成
- (2) スーパービジョン実施後の状況確認
- (3) 研修内容と実践との乖離に関する課題整理

3. 年間研修計画(法人内合同研修)

	ステップ0 (新採用)	ステップ1~4	ステップ5 (指導職候補)	指導職 (副主任)	監督職 (主任・係長)	管理職	
4	新採用職員研修 ～3月まで	品質目標活動報告会(高齢者事業所のみ)					
5				※内部監査員研修			
6		S1コミュニケーション S3 介護(看護)過程の理解				グループスーパービジョン	
7		S2 介護保険制度 と他事業所体験					
8		S1 サービス管理 とリスク管理 I					
9		S3 リーダーシップ の理解					
10		S2 サービス管理 とリスク管理 II		グループスーパービジョン			
11		S4 原因分析と再発防止					
12		S2 グループスーパービジョン体験					
1			グループスーパービジョン				
力量評価(表配布・作成)							
2	力量評価(とりまとめ・すり合わせ・面談実施)						
3	力量評価(面談実施)						
時期未定				福祉職員キャリア パス対応生涯研 修過程「チームリ ーダーコース」等	福祉職員キャリア パス対応生涯研 修過程「管理職 員コース」等		

※印…対象者のみ

□ 感染症予防対策委員会

1. 運営方針

感染症情報と、各事業所の感染症発生状況を把握し、必要な情報をタイムリーに情報発信することで感染予防と拡大防止を図る。

2. 重点目標

- (1) 法人内の感染症発生状況を把握し、全事業所と情報共有を図る。また、感染症予防対応の情報発信をする。
 - ① PC ネットワークにおける共有フォルダを活用し全事業所の感染症発生状況の把握と、予防・拡大防止に向けた情報発信
 - ② 県感染情報センターや大館保健所の感染症発生に係わる週間情報の発信
 - ③ 職員が感染症に罹患した場合の出勤停止期間の確認と周知
- (2) 職員や施設利用者の家族、関係者に対する感染症予防に関する啓発活動をする。
 - ① 広報誌や社内報、掲示物を活用した、職員や利用者家族、関係者に対する感染症予防対策の情報発信
 - ② 委託事業者や取引先等の職員に対する、標準予防策の周知

3. 年間計画

月	内 容
4	・各事業所へ感染状況入力(共有フォルダ)の依頼 ・各事業所へ委託業者に対する感染症予防研修実施の依頼
7	・感染症予防啓発活動の検討、準備～職員、利用者家族、関係者へ(ほほえみ 10 月発行、なごみ 12 月発行、ポスター等活用)
8	・感染症予防啓発活動の検討、準備
9	・インフルエンザワクチン注文、計画書作成 ・感染症予防啓発活動の検討、準備
10	・各事業所へ感染性胃腸炎対応研修の呼びかけ ・感染症予防啓発活動の実施 ・感染症に罹患した場合の出勤停止期間の見直し、検討
11	・インフルエンザ予防接種実施 ・感染症予防啓発活動の実施 ・「職員が感染症に罹患した場合の出勤停止期間」を各事業所へ発信

□ 衛生委員会

1. 重点目標

- (1) 心の健康の保持増進に向けた取り組みを強化し、働く意欲の維持向上や人財の定着に繋げる。
 - ① 心の健康づくり年間計画の策定と継続的実践に向けた仕組みづくり
 - ② ハラスメント対策に関する情報発信や研修等の実施
- (2) 職場環境の整備や、職員の継続的活動の取組みを支援することで、健康を維持促進できるよう図っていく。

- ① 転倒や腰痛発症など、労働災害予防防止に向けた見える化と年間計画の実践
- ② 健康活動に関する情報提供および普及啓発の継続的な実施

□ 広報委員会

1. 重点目標

当法人のホームページを閲覧する方々が、見やすく、かつ必要な情報を収集しやすくなるように、ホームページのレイアウトならびにデザインの変更に取り組む。

昨年、事業所のホームページ更新担当を対象とした操作方法の研修を行った際、講師であるメーカーの担当者から、「事業団のホームページのデザインが旧式であるため、1画面に表示される情報量も少なく、さらに見づらいので、デザイン変更を検討してみてはどうか」と、助言を受けている。

ホームページは、法人の情報発信の手段として重要な役割を担っており、事業計画、事業報告、決算状況、法人としての様々な取り組みについて、地域住民、施設の利用者・家族、大館市民、就職を希望する学生などに、広く発信するものであり、その結果として、法人の理解と信頼を得るための重要なツールである。

そのため、当法人のホームページを見やすく、情報収集がしやすくなるようにレイアウトとデザインの変更に取り組んで行く。

2. 広報誌発刊計画並びにホームページ更新計画一覧

区分	広報誌発刊、HP更新時期及び内容
広報「ほほえみ」	・4・10月に、各事業所行事内容等を掲載し発行する。右開き8ページにて
職員向け広報「なごみ」	・6・12月に、本部・委員会情報、職員の話題他を掲載し発行する。左開きA3両面二つ折り4ページにて。
事業団ホームページ	・トップページ写真(スライドショー形式)更新3ヶ月毎(四季に合わせて) ・「ほほえみ」PDFのサイトアップ。 ・各事業所サイトの定期更新の働き掛け(3ヶ月毎) ・役員職員組織図、各種法人情報等の開示

□ 災害防犯委員会

1. 運営方針

災害部門では令和元年度と同様に、有事の際に各施設からの応援要請があった場合に速やかに対応できるようにする。防犯部門では令和元年度に作成した防犯マニュアルを元に、各施設が防犯に関する共通認識を持てるようにする。

2. 重点目標

(1) 駆けつけ訓練の実施

土日の日直当番職員対象のへき地保育所への駆けつけ訓練を実施し、休日の日直が有事の際、保育所までの応援経路、保育所内及び保育所付近の避難場所

を把握出来るようとする。

- (2) 防犯マニュアルの職員への周知
- (3) 防犯訓練の各事業所での実施を目指し、新年度は各事業所の管理職を対象とした防犯訓練講習会を開催する。

□ 栄養・給食部会(新)

1. 運営方針

調理業務委託の最終年度となる令和2年度は、調理業務体制の直営化に向け、内部の体制を検討し、スムーズに移行していくための準備期間として、新設の部会を設置し活動していく。

また、令和2年度から新規に大館市で実施する事業である「大館市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施業務」については、当法人がモデル的に先行して受託していく予定としている。この事業は、在宅の高齢者の介護予防と健康づくりに貢献し、フレイル(加齢により心身が老い衰えた状態)予防を目的とし活動するものであり、管理栄養士による在宅高齢者の訪問指導等も予定されていることから、この事業の実施体制の確立に向けても本部会において検討し体制整備に努める。

2. 重点目標

- (1) 調理業務の直営化に向けた体制整備(現委託業者との調整、適正な採用)
- (2) 食事サービスの質を維持するための活動(発注、食品衛生管理、調理方法等)
- (3) 調理にかかるコスト削減策の検討等
- (4) 「大館市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施業務」の事業実施体制の整備(地域包括支援センター等との連携による)

3. 年間管理運営計画

月	内 容
4	<ul style="list-style-type: none">・年度始め式、辞令交付式(4月1日付)・本部会議(毎月開催)・広報ほほえみ発行
5	<ul style="list-style-type: none">・事業報告、決算書作成・監事監査会・令和2年度予算補正(第一次)・定時理事会
6	<ul style="list-style-type: none">・定時評議員会・決算計算書類及び財産目録等の所轄庁への提出(社会福祉法第59条)・苦情解決第三者委員報告会(令和元年度下半期分)・正職員採用試験(大卒・一般)
7	<ul style="list-style-type: none">・新卒高校生求人求職情報交換会参加

月	内 容
9	<ul style="list-style-type: none"> ・正職員採用試験(新卒者) ・定期人事異動内示(10月1日付) ・市指定管理者申請手続き(ふれあいセンターやまびこ・市立老人福祉センター)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度市指定管理料等要求手続き ・辞令交付式(10月1日付) ・広報ほほえみ発行
11	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決第三者委員報告会(H31 年度上半期分) ・正職員採用試験(一般公募)、正職員登用試験 ・臨時理事会 ・令和2年度予算補正(第二次)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事納め式
1	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事始め式 ・職員自己申告書提出 ・力量評価実施
2	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度事業計画案作成 ・次年度資金収支予算案作成 ・次年度職員採用計画案作成 ・本部事務局ヒアリング(予算、人事)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・定時理事会 ・令和2年度予算補正(第三次) ・定期人事異動内示(4月1日付)

令和2年度 大館市養護老人ホーム成章園 事業計画

1. 運営方針

(1) 大館市養護老人ホーム成章園

養護老人ホームは、心身の状況や環境・経済上の理由から家庭での生活が難しくなった高齢者が、行政の措置により入居し生活を送る施設である。

施設生活においては、生活相談や安否確認、各クラブや行事等活動を提供し、個々の利用者の持つ能力に応じて、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援している。

利用者の状況として、年々高年齢者数は増え、日常的に支援や介護が必要となる利用者も増加しており、利用者の心身状態や介護量を見極めながら、特定施設入居者介護サービスへの移行を検討していく必要がある。

しかし、養護老人ホームの施設環境は、基本的には心身状態の自立している高齢者が暮らす場であることから、ハード面での制約も多い。

したがって、職員による創意工夫に努め、また、利用者のもつ能力を活かしながら、利用者の尊厳を守り自身の生活を自己決定できる支援に努めていく。

(2) 成章園一般型(介護予防)特定施設

成章園では、30床の一般型(介護予防)特定施設を設け、日常的に介護が必要になった利用者に対し、介護サービスを提供し自立支援を目指した援助を行っている。

特定施設としては「外部サービス利用型」から「一般型」へと転換し1年あまりが経過した。これにより、利用者個別のニーズに応じた時間でのサービス提供が可能となり、また、記録等の業務軽減から利用者と関わる時間の拡大を図ることができた。さらに、介護報酬による収入は外部サービス利用型の時より安定化が図られ、そのメリットは大きい。

今後も一般型の特定施設として、メリットを最大限活かした運営に努める。

2. 重点目標

(1) 相談部門

社会環境等の変化に伴い、利用者については、身元引受人が不在の場合や親族との関わりが疎遠となっているケースが増加傾向にある。

本人との関わりが希薄な場合、葬祭費等にかかる費用について生前の受け取りを希望する場合もある。金品の引き渡しについては、過去の前例を踏まえ対応しているものの、これまでには無かった申し出を受け、職員が迷いを感じる場面がある。

そのため、対応に不備が生じないよう、また、利用者の財産を保護していくためにも、施設としての対応を整理していきたい。

(2) 介護部門

利用者の高齢化に伴う日常生活動作能力の低下など、介護が必要な利用者は増えている。また生活習慣や金銭管理などの生活支援が必要な利用者、精神疾患

やDVなどによる見守りや保護が必要な利用者など、利用者間の個人差も大きく、個別支援が必要となっている。

こうした利用者の個別性の尊重と集団生活の維持との間における葛藤も大きいため、職員の専門性を高め対応していく。

- ① 自立支援、課題解決のための業務日課の見直しをする。
- ② 利用者の個々のニーズに応じた的確な支援を提供することができる組織の確立と職員の専門性の向上を目指す。
- ③ それまでの暮らしの継続や、生きがい作りを促進する。

(3) 看護部門

入所者の看護要約(サマリー)や定期受診での検査結果表などの医療情報は、個別に管理されているが、記録のボリュームが多くなっている利用者もあり、整理の必要性が生じている。したがって、令和2年度は個人ファイル等の整理に取り組む。

- ① 看護要約の内容の再確認
- ② 古い書類の整理と、各種書類の効果的な仕分け
- ③ 個人ファイルの定期的なチェック

(4) 栄養部門

調理業務は業者委託により運営されてきたが、直営方式への変更を計画しているところである。直営方式への移行に伴い、成章園の食事提供に係る工程は大きく変わる予定であり、設備や人員など様々な方面からの検討を要し、また、準備段階から利用者へ何等かの支障を与えてしかねない。直営方式への変更をスムーズに行えるよう取り組む。

(5) 事務部門

成章園は、開設後30年以上が経過し、暖房機器をはじめ各種設備の不具合が顕著となっている。法人の自立化まで残り4年となることから、自立化後も支障なく事業運営を継続出来るようにするためにも、建物所有者である大館市に不具合が生じている各種設備機器の修繕・更新要求を強化し、指定管理契約期間満了までに施設の不具合箇所の解消をめざす。

3. 年間事業計画

月	管 理 関 係	委 託 関 係
4	前年度事業報告・決算書作成 委託業務契約	非常通報装置点検 電気設備点検(自家用電気工作物保安管理) グリストラップ汲み取り(以降毎月 1回)
5	利用者健康診断 入所者生活状況報告	害虫駆除消毒、厨房排水溝清掃、貯水槽清掃 蟻駆除薬剤散布、貯油槽点検清掃、水質検査
6	入所判定委員会	特別清掃(窓拭き・網戸・床ワックス) ピット内配管保守点検、ボイラー定期点検 電気設備点検、空調機器清掃点検

月	管 理 関 係	委 託 関 係
		排水管吸引清掃、貯油槽点検清掃
7	職員健康診断 消防避難訓練	非常通報装置点検
8		換気扇清掃(トイレ等) 電気設備点検
9		消防用設備点検 ボイラ定期・特別点検 排水管清掃
10	利用者健康診断 新年度予算要望作成	厨房排水溝清掃、非常通報装置点検 電気設備点検
11	入所判定委員会 消防避難訓練(地元分団との合同) インフルエンザ予防接種	貯水槽水質検査、レジオネラ属菌水質検査 厨房器具点検、浄化槽汲み取り 昆虫防除、特別清掃(窓拭き・床ワックス) ねずみ・衛生害虫駆除、居室換気扇清掃
12	顧客満足度調査	ボイラ定期点検 電気設備点検 排水管吸引清掃
1	新年度予算書作成 自己申告書、力量評価	非常通報装置点検 敷地内除雪
2	次年度事業計画書案作成 職員健康診断(夜勤者対象)	電気設備点検、 敷地内除雪 厨房フード換気扇清掃、給風機洗浄清掃 浴室カビ取り清掃
3		ボイラ定期点検、 敷地内除雪 浄化槽清掃汲取、 排水管清掃 入浴リフト保守点検

4. 年間研修計画

月	内 部 研 修	外 部 研 修
4		県北老連協総会 秋田県老人福祉施設連絡協議会総会
6	感染予防対策研修①	
7	救急救命研修	施設等相談援助職員研修
8	身体拘束等適正研修①	県北老人福祉施設長研修
9	コミュニケーションの理解	接遇研修
10		特定給食施設等研修
11	感染予防対策研修②	県北地区相談員部会研修 県北地区老人福祉施設・在宅・包括職員研修 養護老人ホーム職員研修
12	介護過程の理解	施設等看護職員研修
1	身体拘束等適正研修②	県北地区老連協研修 認知症ケア研修
2		福祉保健施設長研修 介護記録研修
3		養護・軽費・ケアハウス研修

5. 年間給食計画

	定期行事(週1回)	定期行事(月1回)	会議
	喫茶コーナー (コーヒー等飲み物提供)	おやつ作り	栄養委員会(月1回) 委託業者との打ち合せ(随時)

月	行事	食事内容	栄養指導	その他
5	お楽しみ昼食会	焼肉・魚介等		
6	初夏のバイキング		栄養教室	
7	七夕	行事食		嗜好調査
8	夏祭り	行事食		
9	秋彼岸	おはぎ		
	成章園敬老会	行事食		
10	秋のバイキング			
11	だまっこ昼食会		栄養教室	
12	クリスマス	バイキング		
	年越し	年越しそば		
1	新年会	行事食(寿司)		
2	節分	行事食		
3	ひな祭り	行事食		
	春彼岸	ぼたもち		

6. 年間行事計画

担当	実施月	行事内容
行事委員会 〔行事Ⅰ〕	5月	お出かけ会(花見等)
	9月	成章園敬老会
	2月	節分豆まき
	6、9、12、3月	集会室壁画
〔行事Ⅱ〕	7月	七夕飾りつけ
	9月・3月	念佛数珠廻し(春・秋)
	1月	新年会
	5、8、11、2月	集会室壁画
〔行事Ⅲ〕	8月	成章園夏まつり
	10月	お出かけ会(紅葉等)
	12月・3月	クリスマスツリー飾りつけ・ひな祭り
	4、7、10、1月	集会室壁画
事務	毎月	定例会
	偶数月	福寿会
	偶数週	寺子屋
	7月、11月	にぎやか音楽会
	8月	お盆(二十日盆)の法要 白百合ホーム児童との交流会
	9月	大館男声合唱団訪問演奏会
	毎月第1、3週	買物代行
支援	毎月1回	感染症対策、シーツ交換、トイレ用カーテン交換
	毎月2回	食堂テーブル・イス・冷蔵庫清掃、ポータブルトイレ

担当	実施月	行事内容
栄養		消毒
	行事食担当	夏祭り、敬老会、新年会
	毎月	喫茶、昼食バイキング、おやつ作り（栄養委員会と合同）
	5月	お楽しみ昼食会
	6、11月	栄養教室
	7月	嗜好調査（調査項目の検討、集計、評価、周知）
看護	11月	だまっこ昼食会
	毎月1回	体重測定（身長測定4月）
	毎月第2月曜	嘱託医診察
	5、10月	利用者健診
	5、7、2月	健康教室
	11月	インフルエンザ予防接種

7. 各種委員会・クラブ活動

委員会名	目的・内容
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門代表者で構成し、施設運営・管理の検討 ・サービスの質に係る課題の共有と改善 ・顧客満足度の向上に向けた取組み ・利用者の介護申請、移設等に関する確認及び検討 ・苦情、ヒヤリハット、介護事故報告の検証、再発防止や予防対策の立案および効果確認等による施設運営への反映 ・職員教育に関わる検討
衛生・感染症対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止策の検討、備品の維持管理 ・本部同委員会からの伝達事項確認および周知
身体拘束適正化委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束等の防止や改善に向けた情報共有や対策の検討および周知徹底 ・身体拘束等適正化に関する普及啓発活動
行事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・行事計画書の作成、準備、指揮、実施後の検証
排泄委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する支援内容や関連用品等の検討と管理 ・排泄用具の定期点検、使用状況の確認、衛生管理
入浴委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴に関する支援内容の検討 ・職員の技術向上に向けた活動 ・入浴用品の定期点検、メンテナンス、衛生管理 ・レジオネラ対策自主点検(月1回)
栄養委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生管理体制加算に関する（支援内容、関連用品等の検討、衛生管理、定期点検） ・食堂の環境整備 ・食事支援、食事姿勢（ポジショニング）に関すること ・マニュアル等の文書管理 ・食事を通じた生きがい活動の検討
余暇活動検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なレクリエーション活動の企画、実施報告 ・その他余暇活動の企画

クラブ名	目的・内容
民謡クラブ	三味線や太鼓の伴奏と利用者参加型で歌うことにより、民謡の楽しさや良さを感じ、また、声を出すことで気分転換を図る。 (月1回 講師:野呂義子氏)
健康体操クラブ	道具や音楽を取り入れた体操を行ない、心身機能の維持向上および楽しみ生きがいを作る。(月2回講師:船木和子氏)
籐工芸クラブ	作品を作る作業工程と完成した作品の展示などにより、やりがいや達成感を味わえる。(月1回 講師:安藤登喜子氏)
生け花クラブ	季節の花や、園庭・花壇で育てた花を生け、鑑賞することで、全利用者が楽しみや穏やかに過ごせる。(施設行事に合わせ食堂に花等を飾る)
おひさまクラブ	作物を作る・収穫・食する・振舞うという、長期的な活動過程全体と共同作業による喜び楽しみを創る。

8. 消防計画自主検査・点検及び委託検査任務分担表

(1) 自主検査任務分担表

区分	検査対象	実施日	検査実施者
建築物、電気設備等	電気配線（全施設） 非常口、窓・ドアの開閉 電気機器	毎月1回	介護員
火気使用設備等	ストーブ（電気・石油） 吸殻入れ、電磁調理器	毎月1回	管理栄養士
	ガスコンロ（調理場）		
燃料、危険物等	ボイラー、プロパンガス 灯油貯蔵所		防火管理者

(2) 自主点検任務分担表

区分	点検・整備の対象	実施月日	検査実施者
消火器具等	消火器、屋内消火栓		
警報、避難設備等	火災報知設備、救助担架 車椅子、誘導灯・標識等 非常通報装置、非常放送設備、防火扉	避難訓練 実施日 (年2回)	防火管理者

(3) 委託検査

区分	点検・整備の対象	実施月日	検査実施者
消防用設備等	火災報知設備 火災感知器 漏電火災警報設備 非常放送設備 非常通報装置	年2回 3ヶ月に1回	資格を有する業者に委託して実施する

令和2年度 大館市特別養護老人ホームつくし苑 事業計画

1. 運営方針

ここ数年、特別養護老人ホームにおける医療提供体制の整備や看取り機能の充実、重度化への対応と重度化予防の視点から、これまで以上に質の高いサービスの提供が求められるようになった。

特別養護老人ホームに期待されるケアの質と量は確実に増してきており、職員の体力的・精神的な負担は大きい。依然として施設経営が厳しい状況下にある中、限られた人員でいかに効率的で効果的なサービス提供体制を構築していくかが喫緊の課題となっている。

令和元年度の後半には、数年前から検討を重ねていた8時間夜勤への体制変更を行った。職員の心身への負担等、将来を踏まえての変更であるが、その為に生じた業務やシフトの変更により、職員の中には戸惑いを感じている者もみられる。こうした中で、引き続き現場職員との十分な疎通を図り、職員の働く意欲を保ち取り組みを推進する。

つくし苑における医療的ケア(経管栄養、痰吸引)の対象利用者は全体の2割近くを占め、施設での看取り件数も年々増加傾向にある。こうした利用者の高い医療ニーズや充実した看取りケアに対応していくためにも、これまで以上に多職種間の連携機能の強化と個別ケアの向上に取り組んでいく必要がある。

また、高齢者は感染症の発症や骨折等を機に容易に状態が悪化するが、重度者(要介護4、5)が8割以上を占める当苑においては、感染症や転倒、転落等の発生は施設、利用者双方にとって大きなリスクとなる。施設における感染症の発生予防は、通年かつ平常時からの徹底が重要であることから、利用者の基本的ケアを見直すとともに、職員に対しても家庭内での予防対策を含めた細やかな衛生教育を実施し、利用者の安全と健康の維持に努めていく。

施設入所者の健康で豊かな生活を支援していくという施設の使命を果たしながら、一步一歩成長し続けていくよう、職員一丸となって取り組んでいきたい。

2. サービス事業計画

(1) 部門活動

□ 相談部門

1. 重点目標

(1) 施設のケア内容や取り組みについて家族や地域住民との相互理解を深める。

- ① 施設のケア内容や取り組みについて利用者、家族や地域住民との交流会を開催し、情報発信する。
- ② 利用者と地域の子供たちが交流できる行事を実施する。
- ③ ボランティアの受け入れにより、利用者と地域住民との交流の機会を設ける。

- (2) 家族の希望する連絡の内容、手段、回数を把握し、スムーズかつスピーディな情報共有に努める。
 - ① 家族の希望する連絡内容、手段、回数を把握する。
 - ② 家族との情報共有のツールとしてメールの活用を拡大し、運用状況を確認する。
- (3) 終末期の支援体制の強化を図る。
 - ① 入所時より、ケアプラン更新時やご利用者の状態変化時等に終末期の意向を確認し、施設で対応可能な医療的ケア、地域医療の受け入れ体制と利用者や家族の希望する支援とのすり合わせを行う。

□ 介護部門

1. 重点目標

- (1) 職員の介護に関する知識・技術の習熟度を上げる。
- (2) 利用者の生活意欲を引き出すニーズに関わり、利用者と職員がともにやりがいのある活動を企画し、夢や想いをかなえる企画を実現する。
- (3) 利用者や家族の意向を組み込んだ環境整備や、私物の管理ができるようになる。

□ 医務部門

(看護)

1. 重点目標

- (1) 新体制に伴い他職種と連携した効率的な業務改善を行う。
 - ① 前年度から行った業務改革の一環として、業務内容と業務マニュアルの見直しをする。
 - ② 部門間連携委員会と協働・連携し、より効果的な協力体制を検討していく。
- (2) 嘱託医や他職種と連携し、利用者に応じた医療と看取りケアの提供を行う。
- (3) 施設内の感染症予防に主体的に取り組み、感染症発生時は感染症予防対策委員会と連携し、感染拡大の防止に努める。

(機能訓練)

1. 重点目標

新棟体制により、リハビリの週間実施体制を新たに見直した。現状の個別リハビリ実施者以外に、出来るだけ多くの利用者が離床の機会も含め、レク・アクティビティーに参加できるよう引き続き業務の改善に取り組んでいく。

□ 栄養部門

1. 重点目標

美味しい安全な食事提供をする。

(1) 軟菜食の導入を目指す。

刻み食を提供している利用者の中には、咀嚼能力の低下や、舌の動きが悪く食塊を形成できず咽ることや、また飲み込みに時間がかかるといった、摂食嚥下機能の低下が見られている。咀嚼能力があるが力が弱いといった方へ残存の機能を活かすために軟菜食を提供し、噛む事を継続する事で認知症の進行を遅らせることにつなげ、口腔内の唾液分泌により自浄作用の維持にも期待できる。軟菜食は当施設に限らず成章園やほうとうでも導入が望まれており、3施設で軟菜食について内容を検討し導入を図る(管理栄養士調整会議内で検討していく)。

(2) 多職種との連携による経口摂取維持の取組み

利用者の多くは、認知機能や摂食嚥下機能の低下により、経口での食事摂取が困難となり、誤嚥等のリスクも生じている。その為、多職種が共同し、各利用者の食事形態・食事姿勢・介助方法等を検討することで、誤嚥性肺炎を予防し安全に経口摂取が維持できるように支援する

□ 事務部門

1. 重点目標

施設の収支状況について、職員間での情報共有を継続し、コスト削減の意識を高める。

- (1) 四半期ごとのつくし苑収支状況報告を継続し、職員間での共有を図る。
- (2) 排泄用品にターゲットをしぼり、排泄業務の見直しを含めたコスト削減に取り組む。

□ 指定短期入所生活介護事業所

1. 重点目標

- (1) 事業所内外との密な連携を図り、安定したベッドコントロールを行う。
 - (ア) 入所者の入退院、入退所による空床の把握、ショートステイ日程やキャンセル待ちの情報を整理し、空きベッドを有効に活用する。
- (2) 短期利用における利用者リスクを踏まえ、多職種協働による個別ニーズに応じたサービスを提供する。
 - (ア) 新規利用時、状態変化時、他棟利用時にもリスクが共有できるよう利用前の情報共有、利用後の状態確認、情報の引き継ぎの仕組みを作る。
 - (イ) 部門内でのショートステイ業務、利用者情報の共有、引継ぎの仕組みを作る。
 - (ウ) 困難ケースにおいてカンファレンスを実施し、多職種協働によるサービス提供、評価を行う。

(2)委員会活動

□ 運営委員会

施設内の意思決定機能を果たすべく、各部門及び各委員会の実態を把握し、必要な指示を行う。

- ① 職員の働きやすい環境づくりに関する検討(8時間夜勤に関する改善を含む)
- ② 施設経営に関する事項(収支の適正化を図る)の検討

□ つくし苑感染予防委員会

1. 重点目標

(1)平常時における感染予防対策の周知徹底

- ① 昨年整備した感染マニュアルの妥当性を検証し、必要に応じ修正していく。
- ② 季節性感染症に対しては事前に予防対策を講じ、職員並びに家族に発信する。
- ③ 保健係と連携し、現場レベルでの具体的な予防策をとる。
- ④ 職員が感染予防に係る基本知識を習得し、実践力を身につけられるよう教育訓練を行う。

(2)感染症発生時の拡大防止と早期収束への対応

- ① 法人感染委員会と連携し早期に対応する。
- ② 嘴託医や関係行政機関、委託先職員や法人内事業所とも連携し、拡大防止のための必要な処置を講じる。

□ 身体的拘束等適正化委員会

1. 重点目標

(1)利用者の尊厳と主体性を尊重し、生活の自由を制限することのないケアを実施するとともに、施設全職員で権利擁護に対する共通認識を持つ。

- ① 部門内・棟単位で、事例を基に身体的拘束等適正化、及び高齢者虐待防止について検討する。

- ② 職員個々のキラッとひかるケアの実践等を共有し、自己肯定感の向上を図る。

(2)身体的拘束適正化と人権を尊重したケアについての職員教育に努める。

- ① 全職員を対象とした身体的拘束適正化並びに高齢者虐待防止に関する研修を行う。
- ② 新任職員を対象とした身体的拘束適正化並びに高齢者虐待防止のための研修を行う。

□ 部門間連携委員会

1. 重点目標

- (1) つくし苑における他職種との協働体制を維持する。
8時間夜勤の定着を図るため、課題を各部門間共有し整理・解決する。
- (2) 緊急時のマニュアルを効果的に運用できるよう見直す。
- (3) つくし苑の看取り支援の質の向上を図るための検討を行う。

□ 介護技術向上委員会

1. 重点目標

- (1) 根拠に基づく介護技術の習得と技術の展開
モデルケースを選定し、自ら考え分析する力と技術の習得を図る。また、日常の実践の振り返りを通し、現場における実践リーダーの育成を図る。
スーパートランシスファーを現場展開できるよう、指導者を育成する。
- (2) 事故、怪我防止として高リスク者のケア内容の見直しを行う。
入所者全員の骨折既往、骨粗鬆症の有無を移乗アセスメントシートに記載し職員全体で、骨折リスクの高い入所者を把握する。また、新人職員が援助しやすいよう介護技術を指導する。
令和2年度は高リスク者のケア内容の見直しと、事故や怪我が発生しやすい移乗方法を振り返り、現場レベルで移乗に関する検討を行い、安全で適切な介護技術を現場へフィードバックしていく。

□ 栄養委員会

1. 重点目標

- (1) 食事介助に関する研修の実施
委員が数回にわたり外部研修で学んだ事を、つくし苑に合わせた適切な介助が出来るようにまとめ、介護員一人ひとりのサービス向上を目指す。
- (2) 歯科衛生士による口腔ケア研修の実施
 - ① 歯科衛生士から口腔ケアの手技を学ぶ。
 - ② 口腔ケアの重要性を理解する。

□ 排泄ケア向上委員会

1. 重点目標

- 排泄のマネジメントプロセス(アセスメント、多職種協働による支援計画の立案、ケアの実施、評価)を見直し運用していく。
- ① 新しい排泄用品の定着(令和2年度より排泄用品メーカー変更)
 - ② 安全な使用の為、排泄用品変更後の皮膚トラブルをデータ化して把握

- ③ 使用に関して不具合が生じた場合にはメーカーのアドバイザー等の助言も参考に改善に努める。

□ 医療的ケア対策推進委員会

1. 重点目標

- (1) 褥瘡の予防機能を強化する。
- ① ブレーデンスケール(褥瘡のリスクアセスメントスケール)の採点方法について、職員各々で採点基準の認識の相違が生じていないかを各棟委員が適宜確認する。
 - ② ブレーデンスケールの採点結果を踏まえ、リスク軽減の為のサポートが効果的にかつ根拠に基づいて行われているかを委員会内で確認する。
 - ③ 褥瘡の各ステージに於ける使用薬剤や処置方法、創部の肉芽の状態や変化を把握し、各職員が褥瘡治癒までの手順を理解出来るよう委員会内で情報を共有する。
- (2) 看護職員と介護職員の連携による喀痰吸引等の医療行為が、一定の水準を保ち安全に実施出来ているか、毎月の不適合を検証し確認する。また、施設内の研修及び必要時個別指導を行う。
- (3) 実技指導や実地研修など、指導看護師による適時効果的な施設内でのサポート体制により、介護職員の「特定行為従事者」の取得を支援する。また、実地研修に於いては、各部門間で密な連携を図り、実地研修可能な日程を協議し、効率的に研修の進行を図れるよう考慮する。
- (4) 介護職員等による痰吸引等の実地研修の修了判定会議を実施する。

□ 認知症ケア推進委員会

1. 重点目標

- (1) 認知症ケアに係る質の向上への取り組みの実施。
- ① 個別援助計画書を基にしたケアの提供。ケースカンファレンスの開催による評価、個別ケアの検討、振り返りによる「気づき」を促進し、他職員を巻き込みながら現場での認知症ケアを展開していく。
 - ② 認知症ケアに係る外部研修に積極的に参加し、認知症高齢者を支援するための知識や方法、技術を学び、実践力を高める。
 - ③ 内部研修(認知症サポーター養成講座 未受講者対象)を実施し、認知症高齢者を支援するための知識や技術を学び、認知症ケアの質の向上を図る。
- (2) 介護現場における認知症ケアの継続的な取り組みの実現に向けた体制整備
- ① 認知症介護実践リーダー研修へ参加し、認知症ケアの推進役となる実践リーダーを育成する。

□ 災害防犯委員会

1. 重点目標

災害・緊急時の連絡システムを継続で検討する。

令和元年度も緊急連絡網や火災時の通報システムを見直している。見直しにより整備はされているが、現状の連絡網では、有事の際に全職員への連絡にはある程度の時間と手間を要するものとなっている。そのため、より迅速な連絡体制を整備する。

3. 行事計画

月	行事名	その他(希望参加) ※大相撲、音楽クラブ
4	外出(お花見)	毎月第2(水)音楽クラブ 毎月第3(金)ポケットの会
5	外出(ドライブ・外食・買い物) おやつ作り	大相撲星取り大会(夏)
6	肉博・魚博(野外昼食) 外出(ドライブ・外食・買い物)	
7	利用者検診 外出(康楽館芝居見学・古里探訪・外食) おやつ作り	大相撲星取り大会(名古屋)
8	つくし苑・ほうとう合同夏祭り 外出(ひない灯篭流しと花火見学)	
9	利用者結核検診 つくし苑敬老会 おやつ作り 成章小学校発表会予行見学	大相撲星取り大会(秋)
10	外出(きりたんぽ祭り) きりたんぽ作り	
11	インフルエンザ予防接種 外出(ドライブ・外食・買い物) おやつ作り	大相撲星取り大会(九州)
12	年忘れ&クリスマス会	
1	新年会 おやつ作り	大相撲星取り大会(初)
2	節分(豆まき)	
3	ひなまつり おやつ作り だまっこ作り	大相撲星取り大会(春)

※毎月、賀寿祝いの対象者の誕生日に個別にお祝いを行なう。担当は利用者担当職員

4. 委託業務計画

委託業務名	業務内容
給食調理業務	栄養管理、調理作業管理、調理・盛付・配膳・下膳 給食材料の調達、保管、出納管理 厨房設備、調理器具・食器の保守管理 従事する職員の業務管理(衛生管理含む) 給食材料、調理器具、食器等の衛生管理 保存食の確保 直接納入業者に対する衛生管理の指示
厨房機器保守点検	年2回(4、9月) 厨房機器・器具の機能作動点検及び修理
清掃業務	日常清掃(館内及びトイレ清掃、ゴミ収集、浴室清掃) 定期清掃(ワックス掛け・ガラス・網戸他) ねずみ害虫防駆除点検 年4回(5、8、11、2月) 空調機器清掃(換気扇・エアコンフィルター他)
塵芥収集運搬業務	毎週月～金曜日の収集運搬及び処理
生ゴミ収集運搬業務	毎週月～金曜日の収集運搬及び処理
廃プラ収集運搬業務	随時
感染性廃棄物運搬業務	月1回
感染性廃棄物処分業務	月1回
浄化槽保守管理業務	定期巡回、水質検査(月2回) 余剰汚泥処理、滅菌、油脂汲取(年1回)
グリストラップ汲取り業務	グリストラップ汲取り業務(月1回) 廃油汲取り業務(随時)
宿直業務	全日～夜間 施設の巡回、監視、消灯、施錠、火気等の安全確認 文書及び物品の収受、保管 電話応対、来訪者の対応
除雪業務	スノーポールの設置及び撤去 駐車場及び通路の除雪(10cm以上の降雪時)
屋内外配管保守点検業務	給水加圧装置の保守管理 給湯ラインポンプ、屋内外配管の保守管理 作業後の報告書の提出
空調設備保守点検業務	温水器(真空ヒーター)清掃整備 空調機関連機器清掃、保守
非常通報装置保守点検業務	自動火災報知設備、漏電設備、非常放送設備 火災通報装置、誘導灯設備保守点検
スプリンクラー設備保守点検業務	加圧装置、自動起動装置、ポンプ操作盤、スプリンクラーへッド、補助散水栓、流水検知装置、送水口呼水装置、常用電源点検
地下油槽清掃漏洩検査業務	油槽、埋設管の漏洩検査 灯油槽及びサービスタンクのクリーニング
電気工作物保安管理業務	経済産業省令に基づく、月次点検(隔月) 事故発生時の電気事業法106条に基づく手続の指導 電気事業法107条に基づく立ち入り検査の立会い
受水槽保守管理業務	清掃、消毒、外観点検、水質検査
自動ドア保守点検業務	引分型自動ドア装置 4台(年4回点検) 片引型自動ドア装置 1台(年4回点検)

委託業務名	業務内容
ソフトウェア保守業務	介護保険、入所処遇、会計、給与、給食システム ネットワーク保守
コピー機保守管理業務	担当者の定期派遣により保守管理
洗濯業務	利用者の衣類の洗濯、整理他

5. 年間管理運営計画(在宅事業所を含む)

月	管理関係	委託関係
4	・委託業務契約 ・指定管理事業報告(毎月) ・品質目標活動報告会	・水質検査 ・煤煙測定 ・自動ドア保守点検① ・LPガス保守点検 ・厨房機器、器具保守点検① ・浄化槽保守点検(以降毎月点検) ・電気設備保守点検(以降2ヶ月ごとの点検)
5	・前年度事業報告、決算書作成 ・消防避難訓練	・ガラス清掃 ・施設内ワックス掛け ・厨房害虫駆除 ・鼠、害虫駆除① ・空調機器、換気扇清掃 ・浄化槽法定検査
6		・空調設備保守点検 ・地下油槽清掃漏洩検査
7	・職員健康診断 ・利用者健康診断	・計量器定期検査 ・自動ドア保守点検② ・施設内ワックス掛け
8		・空気浄化機保守点検 ・ガラス清掃 ・消防設備点検 ・鼠、害虫駆除②
9	・利用者健康診断(結核検査)	・ガラス清掃 ・空調設備保守点検 ・厨房機器、器具保守点検② ・施設内ワックス掛け
10	・次年度工事修繕関係市要望書作成提出 ・消防避難訓練(地元消防分団の協力連携)	・煤煙測定 ・簡易専用水道検査 ・自動ドア保守点検③ ・電気設備年次点検(停電)
11	・インフルエンザ予防接種	・貯水槽清掃、保守点検 ・浴室洗浄消毒 ・厨房害虫駆除③ ・施設内ワックス掛け ・レジオネラ菌水質検査
12	・顧客満足度調査	・駐車場除雪(～3月)
1		・施設内ワックス掛け ・自動ドア保守点検④ ・居室カーテンクリーニング

月	管理関係	委託関係
2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業所指定更新申請手続き(県) ・次年度事業計画書案作成 ・次年度資金収支予算案作成 ・力量評価、フィードバック面接実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常通報装置保守点検 ・屋内スプリンクラー、消火栓設備保守点検 ・屋内給排水設備保守点検 ・厨房害虫駆除④
3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断(夜勤者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機器清掃(厨房内) ・施設内ワックス掛け

6. 研修計画

月	内部研修	外部研修
4	品質目標活動報告会 新採用職員研修(新採用職員用年間計画)	
5	身体的拘束等適正化委員会①	痰吸引研修(未登録者対象 5~7月)
6	フィジカルアセスメント研修	認知症介護実践者研修
7	感染症予防研修①	
9	医療的ケア推進委員会①(褥瘡予防)	認知症介護実践者研修
10	つくし苑ケア実践報告会 栄養委員会による研修	
11	感染症予防研修②(演習)	
12	医療的ケア推進委員会②(経管・痰吸引)	
1	身体的拘束等適正化委員会②	
他		* 医療的ケア指導看護師講習 1名
		* 医療的ケア研修 介護 2名

令和2年度 大館市ディサービスセンター大滝 事業計画

1. 運営方針

ディサービスはケアマネジャーが立てたケアプランに沿ってサービス提供するが、利用者が望む生活に近づいているのか、利用者の健康状態や身体状況を細かくケアマネジャーへ情報提供する必要がある。令和2年度は、栄養状態に関する情報提供が出来る体制をつくる。

令和元年度は重大な事故の発生は無かったが、「秋田県施設サービス等利用者処遇指導事業」において、事故発生の予防に関する対応についての助言があった。その助言を踏まえ、利用者に安心で安全なサービスが提供できるよう研修を行い、職員一人ひとりのスキルアップを図る。

令和元年度の顧客満足度調査では、余暇活動に関する調査を実施した。結果、脳トレやDVD鑑賞、簡単な動作の運動と外出レクのニーズが高かった。また、「普段の生活で出来ないことがしたい」「楽しみながら運動したい」との声を拾うことが出来た。令和2年度は、「小集団のレク」と「自発的な余暇活動」ができる環境を整え、自立支援を目指しながら満足感と充実感が得られるサービス提供していく。

2. 重点目標

「利用者が小集団で参加できる活動を増やす」

現在提供しているレクリエーションは、比較的大集団で実施しているものが多い。概ね満足度が高いものではあるが、個別のニーズに必ずしも合致していない現実があった。

実際、種類は少ないが小集団で実施しているものから、「ディでの楽しみが増えた」といった声もあったことと、アンケートの結果「普段の生活で出来ないこと」「楽しみながらの運動をしたい」といったニーズもあり、現状のレクリエーションの提供時間を含めた一日のスケジュール、関わる人員等の見直しなど業務改善を図りながら、一人ひとりの利用者にとつてより充実したレクリエーションを提供していく。

3. 年間行事計画

月	行 事 名	
4	観桜ドライブ	
5	季節湯	
6	年間オリンピック①	十二所保育園交流会
7	買物ツア一	
8	夏まつり	
9	敬老会	
10	紅葉ドライブ	十二所保育園交流会
11	季節湯 年間オリンピック②	

月	行 事 名	
12	クリスマス会	
1	正月を楽しもう	
2	年間オリンピック③	節分
3	年間オリンピック表彰式	

4. 年間研修計画（会議計画含む）

月	研 修	会議計画他
4		<ul style="list-style-type: none"> ・担当業務の会議(年間計画作成) ・リーダー会議 ・ディ会議(毎月) ・リハビリ会議(毎月)
5	・事故発生又は予防・再発防止に関する研修	
6	・救命救急(ヘルパーと合同) 大館消防救命講習(外部講師)～心肺蘇生、応急手当(窒息・火傷・怪我など)救急要請の注意点について～	
7	・介護予防及び介要介護度進行予防に関する研修	・事業実績の確認
9	・プライバシーの保護の取り組みに関する研修 ・身体拘束の排除のための取り組みに関する研修	
10	・相談員(スーパービジョン)	
11	・感染症の予防及び蔓延防止に関する研修(マニュアルの確認と実技)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績の確認 ・リーダー会議(事業計画について) ・顧客満足調査の内容検討
12		<ul style="list-style-type: none"> ・来年度事業計画、研修計画及び予算計画の検討 ・顧客満足度調査配布
2		<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査の結果確認
3		<ul style="list-style-type: none"> ・年度のまとめ(事業報告内容) ・事業実績の確認

令和2年度 大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション 事業計画

1. 運営方針

近年、一人暮らしの認知症高齢者や、悪性腫瘍などの疾患により、終末期を自宅ですごす高齢者が見られるようになった。これらの高齢者は、地域住民や医療専門職を含む多職種でのチーム支援が必要となっている。ヘルパーは、利用者の最も身近にいる生活支援者であることを意識し、生活の変化に配慮し援助していく。そして、多職種協働によるチームケアに繋げ、利用者が不安なく生活が送れるようにする。

令和元年度の顧客満足度調査では、概ね高い評価を得ることができた。今後も、生活支援者としてのヘルパーの専門性を高められるよう、スキルアップに努めていく。

ホームヘルパーステーションは地域に根差し、利用者が住み慣れた自宅で暮らせるために、安心を届け、充実した日々を送ることができるようサービス提供に努めていく。

2. 重点目標

『分かりやすい記録の書き方』について学ぶ

平成30年度に『危険予知・原因分析・再発防止』について学ぶことを目標に取り組んだ。原因分析し再発防止を検討していくためには、分かりやすい報告書が大切であることがわかった。そこから、令和元年度の目標を『分かりやすい記録の書き方』とし、誰が見てもわかりやすい記録を作ることができるよう、学習の機会をつくることを目標とし取り組んできた。令和2年度も目標を継続し取り組むことで定着を図る。

3. 年間研修計画

月	内部研修
4	・マニュアルの見直し ・法令遵守～法人コンプライアンス規程の確認～ ・安全配慮義務を考慮した移送サービス(福祉有償運送講習参考に)
5	・認知症ケア、コミュニケーション力のアップ～傾聴について～
6	・救命救急 (デイサービスと合同)～大館消防救命講習(外部講師)～
7	・わかりやすい記録について学ぶ④
8	・調理実習～低栄養について～ 食欲が低下した際に配慮すること、食事がとりやすい調理方法について学ぶ
9	・わかりやすい記録について学ぶ⑤
10	・危険予知・原因分析・再発防止を学ぶ～振り返り
11	・感染症の対応について
12	・わかりやすい記録について学ぶ⑥
1	・自立支援について学ぶ～在宅介護における、自立支援とは～
2	・フィジカルアセスメントについて学ぶ～高齢者によくある疾患や症状を理解し、緊急時の対応へ繋げる～
3	・担当地区の災害危険について学ぶ

令和2年度 ケアプランセンターおおたき 事業計画

1. 運営方針

令和元年6月より、事業所名をケアプランセンターおおたきに変更し、配属職員数の変更など新体制になっている。

給付管理件数については、地域や病院等からの新規相談数は伸びていない状況である。地域や医療機関等の信頼を得るために、「大館市在宅医療・介護連携推進協議会」や「大館市居宅介護支援事業所連絡会」への参加協力、その他の研修会等への参加を引き続き行い、関係機関との連携の機会を増やすことで、関係機関との信頼の獲得を図りながら、給付管理件数の増加を目指す。

また、令和元年度にはケアプランセンターはぎのだいが開設となり、当法人が運営する居宅介護支援事業所が二カ所になっている。居宅介護支援部門として立案した目標を達成するために協働するほか、合同研修も計画しそれぞれのケアマネジャーの力量の向上を図る。

2. 重点目標

ケアマネジメントの醍醐味を学びなおす

介護支援専門員の業務は新規相談対応、サービス調整、ケアプランの作成、会議の開催、記録、モニタリングの訪問など、多岐にわたる。介護支援専門員として経験を重ねるうちに、ともすれば初心を忘れそうになったり、やりきれない想いを抱いたりすることがあるということについて部門内で確認できた。

したがって、事例等を用いて、これまでの自分たちの頑張りを振り返り、ケアマネジメントの難しさとともに醍醐味について学びなおす機会を設ける。また、この活動によって、ケアマネジャーが持つ悩みや喜びを共有し、ケアマネジャーとしてのチーム力の向上を図る。

3. 年間研修計画

月	研修テーマ	概要
4	相談力の向上①	傾聴や会話力等、相談スキルの向上を目的に資料等を用いて研修を行なう。
6	相談力の向上②	ストレスについて学び、自身に合った解消方法等をみつける。
8	ストレスコーピング	様々な視点からの意見交換により、多角的な視点で事例を捉えることができるようになる。
9	事例検討会①	終結したケースの振り返りを行ない、今後のよりよいケアマネジメントにつなげる。
10	デスカンファレンス	様々な視点からの意見交換により、多角的な視点で事例を捉えることができるようになる。
11	事例検討会②	ケアマネジャーが抱える悩みや課題の解決を行なうと共に、ケアマネジャーとしてのスキルアップを図る。
不定	スーパービジョン	

4. その他

- ・包括支援センターが主催する「包括圏域居宅連絡会」への参加
- ・同じく「地域ネットワーク協力員」としての活動
- ・その他包括支援センター事業への協力
- ・大館市在宅医療・介護連携推進協議会の活動への参加協力
- ・他法人の居宅介護支援事業所との事例検討会開催

令和2年度 ケアプランセンターはぎのだい 事業計画

1. 運営方針

令和元年6月1日に、萩野台に「ケアプランセンターはぎのだい」を開設した。顧客満足度調査で「事業所の場所の認識」について調査したところ、20%の方が「わからない」と回答していた。また、開設以降、利用者数も伸びていないことから、地域住民への周知、広報活動に取り組む。

令和2年度は「大館市在宅医療・介護連携推進協議会」や「大館市居宅介護支援事業所連絡会」への参加を引き続き行う他、病院をはじめ包括支援事業所など関係機関との連携の機会を増やし信頼の獲得を図りながら、給付管理件数の増加を目指す。

また、ケアマネジャー業務における達成感や充実感などを感じにくくなっているとの課題も上がるようになっていることから、ケアプランセンターおおたきとの連携・協働による研修を企画し、ケアマネジャーとしての力量の向上を図る。

2. 重点目標

ケアプランセンターおおたきと同じ

3. 年間研修計画

ケアプランセンターおおたきと同じ

4. その他

ケアプランセンターおおたきと同じ

令和2年度 大館市地域包括支援センターおおたき 事業計画

1. 運営方針

地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のための必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、大館市が責任主体となり、市内に 7 センター設置されている。市の定める運営要綱や「第 7 期大館市介護保険事業計画」に則り、各センターと情報交換をしながら運営している。

当センターは平成 31 年 4 月から、上川沿・十二所地区の二地区に再編成され、新体制二年目となる。令和元年 7 月現在の圏域内 65 歳以上の高齢者数は 2,312 人、高齢化率は上川沿 41.66%、十二所 45.89% であり、全国で最も高いとされる秋田県平均 37.1% を大きく上回る。その他、65 歳以上の一人暮らしは 257 人、65 歳以上の高齢者世帯は 359 世帯となっている。担当地区が縮小されたにも関わらず、センターへの新規相談件数は平成30年度を上回っており、地域の高齢化により在宅生活に不安を抱えている方が増加している。

秋田県は少子高齢化により、すでに必要数の 1 割弱の介護人材が不足している。労働力不足と介護需要の増加により、「支える側」と「支えられる側」のバランスは限界にきており、サービスを使いたくても使えない時代が目前に迫っている。

このような状況を鑑み、これからの中高齢者支援の方向性として、社会参加を促すことでフレイル(虚弱)や重度化を遅らせる、そのために地域で「つながる」こと、自助・互助による介護予防の重要性を生活支援コーディネーター(SC)と協働し地域住民への周知・普及啓発について取り組む。「不健康な期間」をいかに短くし、健康寿命を延ばしていくのかがセンターや SC の役割と捉えセンター機能の充実を目指す。

2. 重点目標

『住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるよう相談支援体制の充実やセルフケアの啓発により、地域における介護予防の取り組みを促し、センター機能を強化する。』

社会とのつながりを失うことがフレイル(虚弱)の最初の入り口と言われている。各地で地域支援事業を実施することで高齢者の社会参加を促し、介護予防への取り組みの定着を図る。高齢者一人ひとりが地域とのつながりを持つことが、地域の中での自助・互助の活動に繋がる一助となるようセンター活動に位置付け SC と協働しながら取り組む。

3. 事業内容

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

- ・地域におけるネットワークの構築
- ・実態把握
- ・総合相談

② 権利擁護業務

- ・成年後見制度の活用
- ・老人福祉施設等への措置支援
- ・虐待への対応
- ・困難事例への対応
- ・消費者被害の防止

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会の開催
- ・個別事例を検討する地域ケア会議の開催

④ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

- ・介護予防ケアマネジメント(総合事業)に関するケアマネジメント業務
- ・介護予防事業に関するケアマネジメント業務

⑤ 市町村事業との連携

(ア) 在宅医療・介護連携推進事業

- ・「大館市在宅医療・介護連携推進協議会」への協力
- ・医療関係者と合同の事例検討会に参加
- ・医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加

(イ) 認知症総合支援事業との連携

- ・認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有

(ウ) 生活支援体制整備事業との連携

- ・生活支援コーディネーターや協議体(地域支えあい推進会議)との連携

(2) 地域支援事業

① 生きがい健康づくり支援事業

おおむね 65 歳以上の地域住民に対し、閉じこもり予防・生きがいづくり・社会的孤立感の解消及び介護予防等を目的にした健康づくりに関する教室を開催する。

※地域には「健康教室」として案内している。

② 家族介護者教室

主に介護に携わる家族を対象とし、介護知識や健康に関する教室を開催する。併せて介護者間の情報交換の場として交流を図ることにより、在宅介護の継続を支

援する。

③ 認知症予防教室など

認知症について正しい知識を持ち理解を深めるための教室を開催する。

その他、認知症サポーター養成講座・認知症カフェの開催・支援や認知症地域支援推進員としての活動・情報発信などを行う。

年間活動予定	事業	場所	回数
生きがい健康づくり支援事業 (年間 45 回)	北部シルバーエリア コミュニティセンター	6	
	十二所公民館	6	
	五輪岱自治会館(軽井沢)	4	
	別所会館	4	
	沢尻生活センター	3	
	上川沿公民館	6	
	餌釣会館 (*新規)	3	
	特別養護老人ホーム山館苑	4	
	舟場会館	3	
	根下戸会館	4	
家族介護者教室(年間 3 回)	その他の地区	2	
	十二所地区 1 回、上川沿地区 2 回を予定	3	
認知症予防教室(年 1 回)	北部シルバーエリア コミュニティセンター	1	

(3) 生活支援体制整備事業

① 運営方針

地域包括ケアシステムの構築において、介護予防の充実や今後増加が見込まれる生活支援ニーズに対応するため、大館市支え合い推進会議(以下、第1層協議体)では「みんなでつくろう みんながつながり 支え合う大館」をスローガンに、住民参加による支え合いの仕組みづくり、地域づくりが目指されている。

担当圏域(上川沿地区・十二所地区)では、これまで行われてきた住民の支え合いの基盤となっている集いの場や生活支援の活動を自立支援という観点から捉え、各地区の支え合い推進会議や町内会などの小地域において共有を図っていきたい。また、元気な高齢者はもちろん、広く地域住民の支え合い意識や行動を創り出していくことができるよう、これまで培ってきた地域のリーダーとのつながりを強化していく。これにより、効果的な情報発信と、話し合いの場づくり・仲間づくり・組織づくりなどの社会参加を促す地域づくりを支援していく。

② 重点目標

地域のできるだけ多くの人や元気な高齢者が主体的な行動につながるよう、支えあい活動の意義や地域づくりについて普及啓発活動をする。

第1層協議体の話し合いにおいて事業周知が必要との意見が出され、令和元年度は

委員が協力し合い、広く周知活動を行ってきた。また、担当圏域内でも広報活動や勉強会を重ねている。

今後さらに、効果的な支え合いを推進していくために、実際の活動につながりやすい町内会などの小地域(第3層区域)に関わることも念頭に、できるだけ多くの人や元気な高齢者(新しい人、若い人、男性)の参加が得られるよう働きかけていく。

③ 令和2年度 生活支援体制整備事業(第2層)活動内容

地区	活動内容
上川沿地区 十二所地区	① 住民・関係者に対する直接的啓発活動 ② 勉強会開催 ③ 地域とのつながりづくり ④ 地域支え合い推進会議の開催(各地区ごと 年3回ずつ) ⑤ ニーズの掘り起こし ⑥ 住民主体の集いの場や生活支援組織の後方支援
第1層(市全域) との連携	(1) 生活支援体制整備事業周知を目的とした活動(寸劇・勉強会など) (2) 大館市支え合い推進会議(第1層協議体)への出席 (3) さわやかサポーター(助け合いのサポーター)のフォローアップ

(4) その他のセンター活動

- ① 地域ネットワーク協力員会議の開催…年 3 回
- ② 各地区民生児童委員協議会や福祉員会議への参加…状況に応じて
- ③ 大館市地域包括支援センター連絡会…年 10 回
- ④ 包括圏域住宅連絡会…年 7 回

担当圏域内にある居宅介護支援事業所(おおたき・はぎのだい・ぐらす・山王台)との情報交換や勉強会・事例検討会を定例開催する。
- ⑤ 部門会議…月 1 回
- ⑥ ミーティング…週 1 回
- ⑦ 法人品質目標活動の取組み…年間を通じて
- ⑧ 顧客満足度調査の実施…年 1 回

(5) その他関連事業(大館市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施業務)

令和2年4月より、大館市より受託して行う予定のこの事業は、「(略)「フレイル」状態になりやすい高齢者に対し、疾病予防(医療)と生活機能維持(介護)の要素を組み合わせた支援をすることで、市民の健康課題の解決を図る。また、高齢者の保健事業を介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施することで効果を高め、健康長寿を目指す。(略)」と市が制定する基本方針案にその目的が定められている。

保険課で抽出されたハイリスク者(フレイル予備軍)に対する個別アプローチ並びに

高齢者の通いの場等におけるフレイル予防等の集団指導を行うものであるが、市内でモデル的に3カ所の日常生活圏域において令和2年度より実施することとなり、当包括圏域も含まれることとなった。

この事業の効果を高めるため、包括支援センターが担う地域支援事業並びに生活支援体制整備事業との連携によってこの事業を積極的に進めていきたい。

令和2年度 大館市ケアハウスほうおう 事業計画

1. 運営方針

(1) 大館市ケアハウスほうおう(一般型)

ケアハウスにおける共同生活の良さを生かしつつ、入居者個々の自主性を尊重し、入居者がその人らしく、生き生きとした生活を送ることができるよう支援する。

一般型の入居者の高齢化が進んでいる。令和元年度は特定契約者に重度の介護認定の方が多く、その方たちの援助に手一杯という状況であり、これまで以上に一般型入居者への関わりが持てなかつたが、年度後半には重度者の他施設への移動による退居等により、一般入居者にも目を向けられる余裕が持てるようになった。

援助を必要とする入居者に対して特定契約を勧めるのはもちろんであるが、日々の関わりを通じて入居者の生活状況の把握に努め、どういう形態のサービスを利用しようと「ほうおうの入居者」であることを意識し、関係機関への情報提供を行うなどで安心した生活が営めるように支援する。

(2) 特定施設入居者生活介護事業

令和元年度においても、認知症による行動・心理症状への対応、医療行為の必要性など、対応に苦慮するケースがみられた。入居者本人や家族の意向に添うことも大切であるが、現在の身体状況に適し「その人が安心して暮らせる」環境の提示も専門職として大事な要素である。移設のタイミングや基準などを整備し、より一層安心した生活を送れるよう支援する。

令和元年度の顧客満足度調査において、「有事には連絡を頂いている。」との評価を受けている反面、「安定時の状態連絡が少ない。」「半年に一度位状況を知りたい。」との要望も聞かれている。遠方で中々面会に来られない家族も増加傾向にあるため、その辺も意識した連絡体制も築く。

(3) 配食サービス事業

配食サービスは65歳以上の単身者やこれに準ずる世帯の高齢者や身体障害者で、老衰、心身の障害及び難病などの理由で食事の調理が困難な人の自宅を定期的に訪問し、栄養バランスの取れた食事を調理し提供するとともに安否確認を行うサービスである。

現在は大館市の補助がある方のみ受けているが、今後は実費での利用者も受け利用者ニーズに合った形の配食サービスをひろげていく。

2. 重点目標

(1) 介護部門

「新任職員が独り立ちする為に必要な教育基準を考える」

令和元年度に実施してきた「新任職員の為の教育基準を考える」はまだ終了していないが、チェック項目などの原案は完成している為、職員の確認及び承認後施行していく。新任職員の配置時使用し、隨時改善していく。

「確実に水分を提供するしくみを考える」

高齢者にとって水分不足は様々な病気を引き起こす要因となる。その為水分は必要不可欠なものである。しかしあまり摂取したがらず、必要量が足りていない傾向にある。また自己管理している入居者については全然把握ができていない状態である。その為確実に必要量摂取してもらう為の方法を考えていく。

(2) 看護部門、相談部門

「ケースファイルの整理と情報提供書の見直しを行う」

令和元年度、ケースファイルの整理と情報提供書の見直しを行うこととしていたが、予定通り実施できなかった為、現在も行っている状況である。

令和2年度も引き続き、ケースファイルの整理と情報提供書の見直しを行い、情報提供書の運用方法についても更新の手順などを明確にし、常に新しい情報が提供できる体制を整えていく。

(3) 栄養部門

「口腔ケアの重要性の理解を広める」

現在口腔衛生管理体制加算において、歯科衛生士より助言指導を月1回個別指導の形で受けている。令和2年度は指導で受けた情報を、施設入居者全体に広げ、最後まで口から食べるためには、口腔ケアが重要であることの情報発信をする。

(4) 事務部門

「大館市への設備機器等更新修繕の実施要望の継続」

給湯設備をはじめとする各種設備、また建物自体も経年劣化に伴い、頻回に不具合が発生している。開設から使用している物については、修理・交換のための部品等も生産終了となってきており、不具合対応ができないものも出てきている。それらの修繕・更新について、建物の所有者である大館市に引き続き要望を継続し、現在の指定管理契約期間中の完了を目指す。

3. 年間研修計画

月	内 部 研 修	外 部 研 修	
	全職種共通	施設長・相談員・事務	看護師・栄養士・介護員
4			
5	介護予防（一般入居者との関わり方）	・福祉保健施設・事業者等職員研修	
6	個人情報の取り扱い		・栄養士県北地区研修会
7	身体拘束の防止		・県老人福祉施設職員研修 ・社会福祉施設における労働災害防止等講習会
8		・相談職員研修 ・県北地区老施協施設長研修	・高齢者虐待防止セミナー
9	認知症の理解		・福祉保健施設、事業者等看護職員研修
10	感染症とまん延予防	・東北ブロック軽費老人ホーム研修 ・県北地区老人福祉施設職員研修会	・栄養指導技術研修会
11		・県北地区相談員部会研修 ・老人福祉施設協議会研修Ⅰ ・秋田県老人福祉施設協議会決算セミナー	・社会福祉施設における感染症対策研修会
12			・大館福祉環境部管内給食施設関係者研修会
1	身体的拘束の防止		
2		・養護・軽費・ケアハウス研修	
3		・県老人福祉施設長研修会Ⅱ	

4. 年間行事・給食・管理計画

月	行 事	行 事 食	相 談・栄 養・ 看 護 部 門	管 理 部 門
4	みんなで作品作り みんなのおやつタイム バイキング お花見ツアーブラジル 外食ツアーブラジル	バイキング食		
5	みんなで作品作り みんなのおやつタイム バイキング 端午の節句	バイキング食 柏餅		防災訓練
6	みんなで作品作り みんなのおやつタイム 外食ツアーブラジル		嗜好調査	ガラス清掃
7	みんなの勉強会 みんなのおやつタイム お楽しみ昼食会	バーベキュー		入居者健康診断

月	行 事	行事食	相談・栄養・ 看護部門	管理部門
	成章小学校(2・3 年生)交 流会			
8	夏祭り バイキング 外食ツアーア	野外特別メニュー バイキング食		
9	みんなで作品作り みんなのおやつタイム 敬老会 彼岸	祝膳 おはぎ		施設内ワックス掛け 結核検診
10	みんなで作品作り みんなのおやつタイム 日帰りバス旅行 きりたんぽ会	きりたんぽ	入居者相談会	防災訓練(総合)
11	みんなで作品作り みんなのおやつタイム 外食ツアーア バイキング	バイキング食		インフルエンザ予防 接種 ガラス清掃
12	みんなの勉強会 みんなのおやつタイム クリスマス会 外食ツアーア 年越し	クリスマスバイキン グ 年越し膳		顧客満足度調査 居室蛍光灯カバー 清掃
1	正月 だまこ鍋	正月膳 だまこ鍋		
2	開設記念食事会 節分 バレンタイン	寿司 豆 チヨコ		施設内ワックス掛け
3	ひな祭り 彼岸 バイキング	ちらし寿司・さくら餅 ぼた餅 バイキング食		空調機器清掃 ろ過機保守点検 暖房機保守点検 消防設備保守点検

令和2年度 大館市立老人福祉センター 事業計画

1. 運営方針

- (1) 老人福祉センターとして、高齢者に関わる情報の提供や各種の相談に応じながら、高齢者の健康増進及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
- (2) 公共施設として高齢者をはじめ市民の方々の生きがいと健康づくりの場として活用されるよう、接客・接遇の向上を図り、親しまれる施設づくりに努める。

2. 重点目標

- (1) 高齢者の生活に関わる情報提供をタイムリーに行いながら、利用しやすい施設として通年での安定的な来館者数の確保に努める。
 - ① 高齢者に関する各種情報の発信
 - ・高齢者福祉関係のパンフレット等の配置、ポスターの掲示
 - ② 年間来館者数 45,000 人(3,750 人／月平均、132 人／日)を目指す
 - ・施設の PR に取り組む (のぼりの更新、法人広報誌及びホームページからの情報発信、他)
 - ・変わり風呂の実施 (5 月 5 日こどもの日、7 月 19 日土用の丑の日、11 月 26 日いい風呂の日)
 - ・大館きりたんぽまつりへの協賛(まつりチケット購入者の入浴料割引)
- (2) 4S(整理・整頓・清潔・清掃)を行い、事故やトラブル防止に努める。
 - ① 日常清掃や衛生管理を適切に行い、清潔な環境を維持する。
 - ② 設備機器の日常点検に努め、不具合等の早期発見によりご利用者に係る不便を回避する。

3. 事業内容

- (1) サービス内容:入浴、休憩、介護等の情報発信、相談の受付他
- (2) 入浴無料日:《毎週水曜日》要支援及び要介護認定者・身障手帳所持者
《9月21日敬老の日》高齢者(60歳以上)
- (3) 回数券の発行:高齢者 10回券、20回券、一般 10回券
- (4) 健康づくりの推進:マッサージ機及びトレーニング機器の使用無料
- (5) 館内環境整備:日常清掃及び特別清掃、浴室消毒の実施、廊下ワックス掛け
- (6) 苦情・要望への対応:目安箱の設置と回答の掲示、市担当課への月次報告
- (7) 委託業務:日直業務、警備システム、日常清掃、特別清掃、廊下ワックス掛け、貯水槽清掃、水質検査、浄化槽清掃汲取り、塵芥収集運搬、除雪、レジオネラ属菌検査

令和2年度 大館市ふれあいセンター やまびこ 事業計画

1. 運営方針

- (1) 施設設備の安全に努め、保育・幼稚園・小中学校・老人クラブ・子育てグループ等各種団体の利用促進を図る。
- (2) 各種団体や地域と連携を図り、幼児から高齢者までの各年代層が自然な形で交流できるよう多世代交流事業の展開を図る。
- (3) 放課後児童健全育成事業として「成章にこにこクラブ」を開設し、放課後の学童に安らぎの場、学びの場を提供し、学童の健全育成に努める。

2. 重点目標

- (1) 関係団体や地域のニーズを考慮し、利用者の側に立ったサービスを提供する。
- (2) 県コミュニティセンターでの多世代交流や、隣接の高齢者施設の利用者と積極的に交流を行う。
- (3) 「成章にこにこクラブ」は利用者とコミュニケーションをとりながら、利用しやすい、話しやすい環境作りを推進していく。
- (4) 常に施設設備の安全点検を行い、利用者の事故防止に努めるとともに、不審者対策、難訓練、交通指導を実施し非常事態に備える。

3. 事業内容

放課後児童クラブ「成章にこにこクラブ」

放課後の学童に安らぎの場、学びの場を提供し、学童の健全育成を図る。

平日	土曜日及び学校休業日	利用料
放課後～19時迄	8時～19時迄	3,000円

※ 2人目以降は1,500円

4. 令和2年度にこにこクラブ行事計画

月	行 事 内 容		
4	7日(火)	にこにこクラブ開講式	
	15日(水)	新入生を迎える会	
	下旬	避難訓練	
5	上旬	じゃがいも植え	
	中旬	さつまいも苗植え	
	中旬	防犯訓練	
6	10日(水)	おやつ作り	
	中旬	避難訓練	
	24日(水)	誕生日会(4・5・6・月生まれの人)	
	下旬	七夕の飾り作り	

月	行 事 内 容	
7	7日 (火) 中旬 27日 (月) 30日 (木)	七夕集会 避難訓練 じやがいもの収穫 カレークッキング
8	1日 (土) 4日 (火) 6日 (木) 中旬 下旬	事業団〔夏まつり〕 どろだんご作りに挑戦しよう会 流しそうめん大会 総合避難訓練 スイカ割り (ケアハウスと交流)
9	9日 (水) 中旬 23日 (水) 下旬～	おやつ作り 避難訓練 誕生日会 (7・8・9月生まれ) ハロウィン制作
10	上旬 中旬 30日 (金)	野外活動・バス遠足 野外活動・さつまいもの収穫 避難訓練 ハロウィンパーティ
11	上旬 11日 (水) 中旬 25日 (水)	焼きいも会 (ケアハウスと交流) おやつ作り 防犯訓練 誕生日会 (10・11・12月生まれ)
12	上旬 中旬 25日 (金) 28日 (月)	クリスマス制作 避難訓練 クリスマス会 にこにこクラブ忘年会
1	4日 (月) 5日 (火) 8日 (金) 中旬	令和3年度にこクラブ会員募集開始 昔遊びの会 作って食べよう会 避難訓練
2	2日 (火) 中旬 17日 (水)	節分・豆まき 避難訓練 誕生日会 (1・2・3月生まれ)
3	3日 (水) 中旬 下旬	ひなまつり会 にこにこクラブ閉講式 避難訓練 お別れ会 肩たたき会 (ケアハウスと交流)

令和2年度 大館市へき地保育所 事業計画

平成22年4月より、へき地保育所を大館市から指定管理者として受託しており、今年は第3期の初年度をむかえる。

少子化の加速、世帯構造の変化が顕著になってきている昨今にあって、4月より新たに2歳児26名を含む149名の児童を迎える、地域との連携を大切にしながら、地域に根ざした保育を目指す。

1. 運営方針

- (1) 児童福祉法、児童福祉施設最低基準に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進し、社会的責任を果す。
- (2) 地方自治法、消防法、大館市へき地保育所設置条例、個人保護条例など関係するすべての法令を遵守し、運営の適正化を図る。
- (3) 保育従事者は、保育士倫理綱領に基づき、子どもの人権や人格を尊重するとともに、公的保育・教育を担う自覚をもって、保育所保育指針に準拠した保育を計画、実施する。
- (4) 質の高い保育を提供できるよう、保育環境の整備、職員の研修の保障に努める。
- (5) 関連機関との連携を図り、保育施設としての専門性を高めるとともに、利用者の要望に対応する。
- (6) 開かれた社会資源として、地域との交流や連携を積極的に図り、施設や機能を提供する。
- (7) 利用者への情報提供及び開示を積極的に行い、説明責任を果すとともに、保護者が適切かつ円滑に利用できるようにする。
- (8) 利用者や地域住民の要望や意見を把握したり、公正かつ客観的な評価、市の調査を受けたりする体制を整え、運営や保育の改善に努める。

2. 事業内容

(1) 保育方針

へき地保育所は、地域の幼児教育施設として住民の信頼が厚く、地域に根ざした保育所として機能してきた。

令和2年度も社会や利用者のニーズに対応できる、より質の高い保育をめざす。

(2) 職員研修の確保

- ① 園内研修の充実
- ② 市や県の保育実地指導をクリアした体制づくり
- ③ 年次研修(初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修)への積極的な参加

- ④ 関連機関への加盟(保育士会、保育協議会等)
 - ⑤ 外部団体の研修への参加
- (3) 2歳児の保育への配慮(未満児保育と3歳以上の集団的な保育の区別)
- ① 個別の配慮ができる生活の流れ
 - ② 発達に応じた施設整備(トイレ、畳、体を洗うお湯など)
 - ③ 個別の指導計画(月案)の作成
- (4) 保育所保育指針、幼稚園教育要領に準拠した保育内容
- ① 発達に応じた保育が保障されるよう年齢別保育、担任制を基本とする
 - ② 最低限必要な書類、資料の整備
 - ③ 保育課程の編成、保育計画(年間指導計画、月案、週日案、保育日誌)、児童票の作成
 - ④ 保育所児童保育要録の作成と小学校長への送付
- (5) 発達上課題が見られる子ども、特に配慮を必要とする子どもへ細やかな対応ができる職員体制
- ① 保育補助職員の配置
 - ② ひまわり園の活用、専門機関の指導を受ける体制
 - ③ 個別の支援計画の作成
- (6) 研修参加のための、代替職員、予算(研修費、旅費)の確保
- (7) 自己評価の実施、苦情解決システムの構築

3. 令和元年度在園児数

令和2年1月31日現在

No.	保育所名	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1	二井田保育所	5	6	4	5	20
2	真中保育所	1	5	4	3	13
3	下川沿保育所	8	4	9	5	26
4	沼館保育所	7	5	5	7	24
5	花岡保育所	3	3	4	7	17
6	矢立保育所	0	1	2	5	8
7	長木保育所	16	11	21	10	58
	合 計	40	35	49	42	166

4. 令和2年度入園申込数

令和2年1月31日現在

No.	保育所名	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	増減
1	二井田保育所	2	3	4	3	12	▲8
2	真中保育所	2	1	5	4	12	▲1
3	下川沿保育所	4	8	4	9	25	▲1
4	沼館保育所	2	6	6	5	19	▲5
5	花岡保育所	2	4	3	4	13	▲4
6	矢立保育所	3	2	1	0	6	▲2
7	長木保育所	11	18	11	22	62	4
	合 計	26	42	34	47	149	
	増 減	▲14	7	▲15	5		▲17

令和2年度 年間事業計画(二井田保育所)

～気持ちが伝わるってうれしいね！みんなと遊ぶって楽しいね～

保育目標：心を広げ 夢を持ち いきいきと活動することを通して生きる力の基礎を育てる

目指す子どもの姿：○いきいきと遊べる子 ○豊かに表現できる子

○友達と仲良く遊べる子 ○地域との触れ合いを楽しめる子

月	行 事	地域・学校関連
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 保護者会総会 ・新入児歓迎会 ・子どもの日祝会 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室 ・保育参観 ・足型とり ・保護者早朝草取り奉仕 	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学区保小連絡協議会 (1年生の授業参観・情報交換) ・さつまいも苗植え・年長、中児 (北部エリア世代間交流事業)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診 ・運動会 ・交流保育（真中保育所とばら園見学） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区運動会
7	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕集会 ・個人面談 ・プール開き ・交流保育（真中保育所とブルーベリー摘み） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちびっ子夏祭り (公民館事業・有志参加)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき指導（南中学生） ・交流保育（真中保育所でプール） ・総合防犯訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育体験・保育所見学 (南小学校教諭)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・親子レクレーション ・健康診断 ・交流保育 (真中保育所とりんごがり・ひまわり種収穫) ・保護者早朝草取り奉仕 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会参加（年長・中児）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・歩き遠足 ・総合避難訓練 ・祖父母交流焼き芋会 ・ハロウィン 	<ul style="list-style-type: none"> ・南小ふれあい交流会 (南小1.2年生と年長児) ・小学校就学時健診（年長児） ・さつまいも収穫・年長、中児 ・(北部エリア世代間交流事業) ・南小學習発表会予行参観

月	行 事	地域・学校関連
11	<ul style="list-style-type: none"> ・親子歯科講習会 ・祖父母交流おにぎり会食 ・七五三集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館文化祭参加（全園児）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戲会 ・クリスマス会 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・交流保育（真中保育所と） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちびっ子冬祭り（公民館事業） ・南小体験入学（年長児）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分集会 ・令和3年度入園児健康診断 説明会 ・交流保育（真中保育所と） ・足型とり ・保育参観 ・年長児親子お楽しみ会 ・総合避難訓練 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母・地域交流ひな祭り会 ・南小学校3年生と交流会 ・卒園・修了記念写真撮影 ・お別れ会 ・祖父母卒園式・修了式予行参観 ・卒園式・修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学区保小連絡協議会 (保育所の保育参観・情報交換) ・保育要録送付(南小学校)

毎月の行事…交通安全指導・避難模擬消火訓練・防犯訓練・身体測定・誕生会

令和2年度 年間事業計画(真中保育所)

～気持ちが伝わるってうれしいね！みんなと遊ぶって楽しいね～

保育目標：心を広げ 夢を持ち いきいきと活動することを通して生きる力の基礎を育てる

目指す子どもの姿：○いきいきと遊べる子 ○豊かに表現できる子

○友達と仲良く遊べる子 ○地域との触れ合いを楽しめる子

月	行 事	地域・学校関連
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 保護者会総会 ・新入児歓迎会 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの日祝会 ・祖父母交流会 (さつまいも・野菜の苗植え・ひまわり種植え) ・保育参観 ・交通安全教室 ・早朝作業活動(草刈り,草取り) ・足型取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学区保小連絡協議会 (1年生の授業参観・情報交換) ・JA訪問(さつまいもの苗をいただきに行く)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・歯科検診 ・早朝作業活動 (プール掃除、草刈り) ・交流保育 (二井田保育所とばら園見学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・真中地区運動会参加 ・ひまわりの種.苗植え (真中公民館) ・ふれあい交流学習(南中学生来園)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕集会 ・個人面談 ・交流保育 (二井田保育所とブルーベリー摘み) 	<ul style="list-style-type: none"> ・真中地区シルバー人材センター会員による草刈り.草取り
8	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき指導 (南中学生) ・プール参観 ・交流保育(二井田保育所とプール) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき学級と交流会 (真中公民館) ・保育体験・保育所見学 (南小学校教諭)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・親子レクレーション ・交流保育(花岡、矢立保育所から年長児) ・健康診断 ・早朝作業活動(草刈り.草取り) ・交流保育 (二井田保育所とりんごがり・ひまわりの種 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会で遊戯披露 ・ひまわりの種収穫(真中公民館)

月	行 事	地域・学校関連
	収穫)	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・歩き遠足 ・祖父母交流会（さつまいも掘り） ・総合防犯訓練 ・焼いも会 ・ハロウィン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい交流会(南小1.2年生と年長児) ・南小学校.学習発表会予行参観 ・南小学校.就学時健診(年長児)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・親子歯科講習会 ・七五三祝い会 ・総合避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館文化祭参加（全園児）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯会 ・クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯会 (地域の方・いきいき学級)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 ・交流保育(二井田保育所と) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お寺見学(源守院) ・南小学校.体験入学（年長児）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分集会 ・足型取り ・令和3年度入所児健康診断・入所説明会 ・交流保育(二井田保育所と) ・総合避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき学級と交流会 (真中公民館)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り会 ・南小学校3年生と交流会 ・卒園・終了記念写真撮影 ・お別れ会 ・卒園式.修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学区保小連絡協議会 (保育所の保育参観・情報交換) ・保育要録送付(南小学校)

毎月の行事…交通安全指導・避難模擬消火訓練・防犯訓練・身体測定・誕生会

令和2年度 年間事業計画(下川沿保育所)

～えがおでげんきにのびのびと～

保育目標 生活や遊びの中で生きる力の基礎を培う

目指す子どもの姿 1. 健やかな体と心を持つ子 2. 豊かな感性と創造性にあふれる子
3. 自分なりに考える子 4. 地域との触れ合いを楽しめる子

月	行事	地域・学校関連
4	・入園式・進級式 ・子どもの日祝会	
5	・じやがいも種植え ・さつまいも苗植え ・交通安全教室 ・保育参観日・保護者会総会 ・個人面談	
6	・親子バス遠足 ・歯科検診 ・祖父母草取り交流会 ・沼館保育所との交流	・地区親睦運動会参加 ・川口小学校と交流 ・高齢者学級草取り交流会
7	・七夕集会 ・プール開き ・ブルーベリー狩り ・夏祭り ・保護者会清掃奉仕	
8	・じやがいも掘り ・総合避難訓練 ・親子歯磨き講習会	
9	・健康診断 ・保護者会清掃奉仕	・敬老会参加（年長組） ・川口小学校発表会予行見学
10	・運動会 ・なかよし遠足 ・さつまいも掘り ・沼館保育所との交流 ・ハロウィンごっこ	・地域防犯パレード参加 ・公民館文化祭参加 ・小学校就学時健診
11	・令和3年度入所児童募集	・下川沿地区合同研修会

月	行事	地域・学校関連
	・保育参観日	
12	・発表会 ・クリスマス会	
1	・個人面談 ・保育参観日	・小中学生除雪ボランティア
2	・総合避難訓練（通報） ・保護者会除雪奉仕 ・令和3年度入所時健康診断・説明会 ・豆まき ・お茶と和菓子の会（祖父母交流会）	・小学校1年生との交流会 ・高齢者学級との交流会（お茶会）
3	・ひな祭り会 ・お別れ会 ・卒園式・修了式	・下川沿公民館お茶会参加（年長児） ・小学校情報交換

毎月の行事・・・交通安全指導、避難訓練、身長体重測定、誕生会

令和2年度 年間事業計画(沼館保育所)

～地域・自然に親しみ、心豊かにたくましく～

保育目標：共に、よりよく生きようとする力を育む

- 子どもの姿 1. 生き生きと遊べる子 2. 友達と仲良く遊べる子
3. 豊かに表現できる子 4. 地域との触れ合いを楽しめる子

月	行事	地域・学校関連
4	○入所式・保護者会総会 ○交通安全教室	
5	○子どもの日祝会 ○じゃがいも植え ○個人面談	○さつまいも苗植え・草取り（老人会交流） ○なかよしお風呂（4・5歳児）
6	○歯科検診 ○親子遠足	○下川沿保育所交流会 ○桂城小1・城南分園5歳児交流（バラ園訪問）
7	○プール開き ○七夕集会（祖父母交流） ○保育参観	○沼館地区運動会参加 ○城南分園交流（川遊び）
8	○夏祭り会 ○じゃがいも掘り ○総合避難訓練	
9	○おみこし練り歩き ○りんご狩り ○下川沿保育所交流 ○健康診断（児童のみ） ○歩き遠足	○地区敬老会参加 ○なかよしお風呂（3歳児）
10	○運動会 ○防犯訓練教室 ○焼きいも会（祖父母）	○城南分園交流 ○下川沿保育所交流会 ○いも掘り（老人会） ○沼館地区総合避難訓練参加 ○ハロウィン（地域交流）
11	○次年度入所児募集開始 ○親子歯科講習会・保育参観	○地区公民館祭参加
12	○発表会 ○クリスマス会	
1	○個人面談	
2	○次年度入所児健康診断・説明会・個人面接 ○豆まき（節分）○お別れ会 ○総合避難訓練	
3	○修了式	○ひな祭りお茶会 ○小学校交流会

※毎月の行事：交通指導・身体測定・避難訓練・防災訓練・誕生会

※年間交流事業：小学校や他園・地域交流「サロン」等

令和2年度 年間事業計画(花岡保育所)

瞳 きらきら 心 どきどき 体 わくわく

保育目標：好きな遊びを心ゆくまで楽しむことを通して、生きる力の基礎を育てる

目指す子どもの姿：○生き生きと遊べる子 ○豊かに表現できる子

○友達と仲良く遊べる子 ○地域との触れ合いを楽しめる子

月	行 事	地 域・学 校 関 連
4	入所式・進級式 保護者会総会 絵本読み聞かせ・矢立保育所交流①	花岡小学校 入学式
5	保育参観 絵本読み聞かせ・矢立保育所交流②	花岡小学校運動会（5歳児参加） 保小連絡協議会① 北陽中学校職場体験 地域交流①畑作り
6	交通安全教室 親子バス遠足 歯科検診 石田ローズガーデン見学 絵本読み聞かせ・矢立保育所交流③	神山荘シルバーオリンピック参加 保小交流①七夕制作交流(2回)
7	七夕集会 夕涼み会	地域交流②夕涼み会
8	総合避難訓練（消防士依頼） 北教育事務所要請訪	地域交流③じゃが芋ほり 保小交流②花小ハローワーク
9	運動会 りんご狩り（4・5歳児赤石玉光園）	敬老会参加 地域交流④運動会
10	個人面談 健康診断 秋の遠足 焼きいも会・矢立保育所交流④	年長児就学時健診 地域交流⑤さつまいも掘り 栗拾い（成田さん宅）
11	七五三詣り 親子虫歯予防講習会 総合防犯訓練（警察官依頼） 引き渡し訓練	花岡地区産業文化祭参加 りんご狩り（阿部さん宅）

月	行 事	地 域・学 校 関 連
12	おゆうぎ会 祖父母交流 クリスマス会・サンドイッチ会食	地域交流⑥クリスマス会 保小連絡協議会②
1	保育参観	保小交流③新春かるた大会（5歳児参加）
2	豆まき 健康診断・面接・説明会 矢立保育所交流⑤ 卒園・修了記念写真撮影	花岡小学校 1日体験入学 第三者評価委員会
3	ひなまつりお茶会・会食 お別れ会・おすし会食 卒園式・修了式	地域交流⑦ひなまつりお茶会 花岡小学校卒業式

《毎月の行事》交通安全指導・身体測定・防災避難消火訓練・防犯訓練・誕生会・5歳児絵本読み聞かせ（おはなしの杜）

令和2年度 年間事業計画(矢立保育所)

ふれあい つながり みんな笑顔

保育目標 : 心も体も生き生きと 生きる力の基礎を培う

目指す子どもの姿 : ○健康で明るく元気に遊べる子 ○やさしい心と思いやりのある子

○自分の思いや考えを表現できる子 ○地域との触れ合いを楽しめる子

月	行事	地域・学校関連
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入所式・進級式 ・保護者会総会 ・絵本読み聞かせ（花岡保育所交流） 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 ・じゃがいも種植え、さつまいも苗植え ・交通安全教室（交通安全協会矢立支部） ・歯科検診 ・個人面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区祭典(神社参拝) ・矢立小学校運動会 ・小学校と合同避難訓練
6	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会草取り ・親子バス遠足 ・絵本読み聞かせ（花岡保育所と交流） 	<ul style="list-style-type: none"> ・矢立小学校2・3年生と交流 ・矢立小学校評議会委員会
7	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き ・夕涼み会 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会（保護者会主催・公民館協賛） ・矢立育成園（夕涼み会に招待） ・北陽中学校ボランティア
8	<ul style="list-style-type: none"> ・プール参観 ・じゃがいも掘り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー狩り（日景宅）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の健康診断 ・りんご狩り ・運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会（全員参加）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の遠足 ・防犯訓練（警察署に依頼） ・さつまいも堀り ・焼きいも会（花岡保育所と交流） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校就学時健診 ・矢立小学校評議会委員会
11	<ul style="list-style-type: none"> ・親子歯科講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館祭り参加 ・餅つき会(矢立公民館・保護者会主催) ・矢立育成園祭に参加 ・矢立小学校感謝集会

月	行事	地域・学校関連
12	<ul style="list-style-type: none"> ・お遊戯会 ・クリスマス会（祖父母交流） 	<ul style="list-style-type: none"> ・矢立小学校1年生と交流 ・デイサービス慰問 ・矢立育成園と交流
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 ・個人面談 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき ・新入所児健康診断と入所説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・矢立小学校1日体験入学 ・矢立小学校評議会委員会 ・矢立育成園除雪ボランティア
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り会・お茶会 ・お別れ会 ・お別れ遠足（5歳児） ・卒園式・修了式 	

《毎月の行事》避難消火訓練、防犯訓練、交通指導、身体測定、お誕生会

令和2年度 年間事業計画(長木保育所)

みんな仲間 地域で育とう 長木っ子

保育目標：乳幼児の心身の発達に応じた生命の安全を図り、生き生きと楽しく生活する力を育てる

目指す子どもの姿	<input type="checkbox"/> 生き生きと遊べる子ども	<input type="checkbox"/> 豊かに表現できる子ども
	<input type="checkbox"/> 友達と仲良く遊べる子ども	<input type="checkbox"/> 地域との触れ合いを楽しめる子

月	行事	地域・学校関連
4	<input type="checkbox"/> 入所式 <input type="checkbox"/> 子どもの日集会	小学校入学式 水交苑慰問 桜まつり遊戯披露
5	<input type="checkbox"/> じゃがいも種イモ植え・祖父母交流会 <input type="checkbox"/> 保育参観日 <input type="checkbox"/> 祖父母手伝いさつまいも苗植え <input type="checkbox"/> 5歳児個人面談	チャレンジデー(ドームイベント参加)
6	<input type="checkbox"/> 歯科検診 <input type="checkbox"/> 親子バス遠足 <input type="checkbox"/> 2,4歳児個人面談	長木地区運動会
7	<input type="checkbox"/> お泊り保育(年長児) <input type="checkbox"/> 3歳児個人面談 <input type="checkbox"/> 夕涼み会	公民館夏のお楽しみ会 保・小交流会 (長木小)
8	<input type="checkbox"/> 自由保育参観の週(プール見学・弁当見学) <input type="checkbox"/> じゃがいも掘り <input type="checkbox"/> 総合避難・消火訓練	
9	<input type="checkbox"/> 健康診断 <input type="checkbox"/> 運動会 <input type="checkbox"/> 交通安全教室	公民館高齢者学級交流会 長木地区敬老会遊戯披露 水交苑敬老会遊戯披露 デイサービス敬老会慰問
10	<input type="checkbox"/> 歩き遠足 <input type="checkbox"/> 祖父母手伝いさつまいも掘り <input type="checkbox"/> 焼いも会 <input type="checkbox"/> ハロウィンごっこ <input type="checkbox"/> 防犯訓練・教室	保・小交流会 (長木小)
11	<input type="checkbox"/> 親子歯科講習会	長木地区公民館祭遊戯披露
12	<input type="checkbox"/> 発表会 <input type="checkbox"/> 祖父母交流会(弁当会食)	クリスマス会慰問 (ショートステイとんぼ)

月	行事	地域・学校関連
	○ クリスマス会	森林管理署杉ツリー飾り付け
1	○ 5歳児個人面談 ○ 保育参観日（講演会） ○ 避難通報訓練 ○ 令和3年度入所児童健康診断	
2	○ 節分（豆まき会） ○ 卒園記念写真撮影 ○ 令和3年度新入所児童説明会 ○ お別れ遠足（年長組）	保・小交流会（各小学校）
3	○ ひな祭り会 ○ お別れ会 ○ 卒園式・修了式	小学校卒業式

※ 毎月の行事…身体測定・誕生会・交通安全指導・避難訓練・防犯訓練・布団持ち帰り消毒・絵本配布

